

# 第6次越谷市障がい者計画（案） 概要

計画期間：令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

## 第1章 計画の基本的な考え方（本編P1～P3）

### 【計画策定の趣旨】

障がい者数の増加や高齢化に伴う障がいの重度化・重複化、いわゆる「親亡き後」等の多様化する課題や、法制度等の改正などに迅速・的確に対応し、障がいのある人もない人も地域で分け隔てられることなく、いきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めていくための指針として「第6次越谷市障がい者計画」を策定する。

### 【国の動向】

国では、「障害者差別解消法」の改正（R3）、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の制定（R5）など、障がい者の自立及び社会参加の支援等のための施策を推進している。

### 【計画の位置づけ】

計画の策定にあたっては、計画の実効性を高めるため、市の最上位計画である総合振興計画及び福祉関連分野の上位計画である「地域福祉計画」、その他各種分野別計画との整合を図る。

## 第2章 障がい者の現状と課題（本編P4～P57）

人口・障がい者手帳所持者数等統計データ、アンケート及び団体意向調査等を踏まえ、第6次越谷市障がい者計画策定に向けた課題を提起する。

## 第3章 計画の基本的な枠組み（本編P58～P61）

**基本理念** これまでの基本理念を継承し、「障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会」とする。

**基本目標** 基本理念を実現するために、4つの基本目標を掲げる。

## 第4章 施策の展開（本編P62～P108）

基本目標の下に7つの基本方針を設定し、この方針に基づき施策を展開する。

## 第5章 計画の推進（本編P109）

計画の推進体制、進行管理について

基本理念	基本目標	基本方針	施策
ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会	基本目標1 相互理解・相互尊重を育む	基本方針1 障がい者の権利擁護等の推進及び障がいに対する正しい理解の促進	① 権利擁護の推進及び虐待の防止 ② 成年後見制度の充実 ③ 障がいを理由とする差別の解消の推進 ④ 広報・啓発活動の推進 ⑤ 地域での交流と理解の促進
	基本目標2 一人ひとりの意思に寄りそう暮らしの支援基盤をつくる	基本方針2 保健・医療の充実	① 疾病の予防と早期発見・早期対応 ② 地域療育システムの充実 ③ 地域での保健・医療体制の充実
		基本方針3 地域生活を支える福祉サービス及び支援体制の充実	① 地域生活支援体制の整備 ② 生活を支える福祉サービスの充実 ③ 日中活動の場の確保 ④ 住まいの場の充実 ⑤ 地域での支援体制の充実
	基本目標3 社会参加を促進する	基本方針4 教育・育成の充実	① 就学前保育・教育の充実 ② 相談の充実 ③ 学校教育の充実 ④ 課外活動の充実
		基本方針5 雇用・就労の確保	① 総合的な就労支援の充実 ② 多様な働き方の支援 ③ 受注機会の拡大
		基本方針6 多様な社会参加の促進	① 情報アクセシビリティの向上 ② 意思疎通支援の充実 ③ 生涯学習・スポーツ活動への参加の促進 ④ 文化芸術活動の促進 ⑤ 交流機会の促進
	基本目標4 誰もが安心して暮らせる生活環境を築く	基本方針7 生活環境の整備・充実	① 福祉のまちづくりの推進 ② 道路・交通環境の整備 ③ 外出・移動の支援の充実 ④ 防犯・防災体制の整備